

# 社会科における学習構想案作成のポイント

# 熊本の子供を、「学びの主体」として育てるために！

## ○単元の目標及び評価規準の設定

社会科の場合、学習指導要領における「内容のまとまり」を「単元」と置き換えることが可能です。そのため、学習指導要領及び学習指導要領解説等における「内容のまとまり＝単元」の記載事項を踏まえて、「単元の目標」を設定し、「評価規準」を作成することができます。

単元の目標は、このように3つの柱で示して設定します。ただし、単元の目標は、箇条書きにせず、一文で示されることもあります。

解説には、内容のまとまりごとに単元の目標が示されているので、しっかり読み込みましょう。

「知識及び技能」：下線部㉔

「思考力、判断力、表現力等」：下線部㉕

「学びに向かう力、人間性等」：下線部㉖

単元の評価規準は、次のように設定します。

※(A)を「内容のまとまり」における学習の対象に置き換えて作成する。

◆「知識」は、「2内容」の「知識」に関わる事項に示された(A)の記述を当てはめ、それを児童生徒が「～を理解している」とする。

「技能」は、「2内容」の「技能」に関わる事項に示された(A)の記述を当てはめ、それを児童生徒が「～調べたりして、まとめている」とする。

◆「思考・判断・表現」は、「2内容」の「思考力、判断力、表現力等」に関わる事項に示された(A)の記述を当てはめ、それを児童生徒が「～着目して、～を捉え、～考え、～表現している」とする。

◆「主体的に学習に取り組む態度」は、「2内容」の「学びに向かう力、人間性等」に関わる事項に示されていないことから、学年目標や観点の趣旨を基に評価規準を設定する。

子供たちに求められる資質・能力を確実に育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めていくことが重要です。そのため、単元を通してどのような子供たちの姿を目指していくのかを明確にイメージし、単元を構想しましょう。

## 小学校第3学年 社会 学習構想案

### 1 単元構想

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 単元名   | 「はたらく人とわたしたちの暮らし」  |  |  |
| 単元の目標   | (1) スーパーマーケットやコンビニエンスストアの仕事について、販売の仕方や他地域との関わり、他地域や外国との関わりなどを調べ、販売に携わる人々は、消費者の願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して販売していることを理解することができる。㉔<br>(2) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することができる。㉕<br>(3) 主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。㉖ |  |  |
| 単元の評価規準   | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|   | ①販売の仕事は、消費者の多様な願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりについて、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。<br>②調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。   | ①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。<br>②販売の仕事と消費者の願いを関連付けて販売の仕事に見られる工夫を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。                                 | ①地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、主体的に問題解決しようとしている。<br>②地域の人々の販売の仕事と、自分たちの生活との関わりについて考えようとしている。   |
| 単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）   |  |  |  |
| 販売に関わる仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるように工夫して行われていることを理解し、買い物をするときなど地域の消費者の一人として社会を見ようとする児童。㉔ ㉕ |  |  |  |
| 単元を通した学習課題  |  | 本単元で働かせる見方・考え方   |  |
| 地域のお店ではたらく人の仕事の様子や工夫を調べて、仕事とわたしたちの生活とのつながりを考えよう。  |  | 販売の仕事に携わる人々と消費者との相互関係に着目して、販売の工夫について比較・分類したり、地域の人々の生活と関連付けたりすること。㉕ ㉖   |  |
| 指導計画と評価計画（13時間取扱い 本時12/13）  |  |  |  |
| 過程  | 時間   | 学習活動   | 評価の観点等<br>★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」   |
| 課題発見  | 3  | ○家庭の買い物調べの結果から買い物の様子について話し合い、単元の学習課題を立てる。<br>○買い物の経験や店内のイラストから、スーパーマーケットではどんな販売の工夫が見られるかを予想し、スーパーマーケット見学の計画を立てる。   | 【思-①】（方法：発言・ワークシート）<br>★【態-①】（方法：発言・ワークシート）<br>○学習課題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しを持つようとしている。  |
| 課題追究・課題解決   | 8  | ○売場、働く人、施設の工夫の3つの視点に分かれ、スーパーマーケットを見学、調査したり、店員やお客さんにインタビューしたりして、販売の工夫等について調べる。<br>○それぞれのグループで、見学、調査したことやインタビューしたことをまとめ、発表する。<br>○スーパーマーケットについて、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫をまとめる。 | 【知-①】（方法：観察・ワークシート）<br>★【知-②】（方法：発言・ワークシート）<br>○調べたことを、適切な写真や資料を使って、相手に伝わりやすいようにまとめている。<br>【思-②】（方法：発言・ワークシート）   |
| 新たな課題   | 2  | ○コンビニエンスストアにおける販売の工夫について考える。【本時】<br>○コンビニエンスストアの店長にインタビューすることを通して、実際に取り組まれている販売の仕方などの工夫について話し合う。   | ★【思-②】（方法：発言・ワークシート）<br>○買い物の経験やスーパーマーケット、資料などを参考にしながら、コンビニエンスストアを利用しやすい理由について考えている。<br>★【態-②】（方法：発言・ワークシート）<br>○コンビニエンスストアにおける販売の工夫について、既習事項や生活経験を生かし、意欲的に質問したり発表したりして、コンビニエンスストアにおける販売の工夫を考え、自分の言葉で表現しようとしている。 |

## ★「単元終了時の子供の姿」のポイント

- 目標や評価規準を踏まえ、具体的な学習や生活の場面での子供の姿となっていますか（文末は「～している（しようとしている）子供（児童生徒）」）
- 子供たちと共有したい場合、できる表現になっていますか

小学校の社会科は、社会のしくみを「多角的」に考察することが必要。「生産者」と「販売者」の工夫を追究する際も、社会で生きる「消費者」の立場で社会的事象を捉え、自らの日常生活の中にどのように生かしていくかを想定して設定した例

- ㉔ 「～を理解し」に、本単元の学習内容、目標や評価規準を要約している言葉を示しています。
- ㉕ 「見ようとする」に、実生活の場面でどのように活動したり、考えたりしようとしているかを示しています。（この場合は、「消費者として社会を見ようとする」ことを想定）。

## ★「本単元で働かせる見方・考え方」のポイント

- 単元を通した学習課題を解決するための見方・考え方となっていますか
- 見方・考え方を働かせると深い学びになりますか

※ 単元を通した学習課題を踏まえて、どのような視点で物事を捉えて（見方）、どのような考え方で思考していくか（考え方）を想定して、書き表した例

- ㉕ 「～に着目して」に、教科等の特質に応じた見方に関する内容を示しています。
- ㉖ 「～すること」に当たる文言に、教科等の特質に応じた考え方に関する内容を示しています。

## ★「単元を通した学習課題」のポイント

子供たちが単元を通して興味・関心をもって深く考えることができる学習課題ですか

見方・考え方を働かせて課題解決を図ることができるものですか

子供たちと共有できる表現ですか

単元のゴールの姿に迫るものですか

※ 身近な地域にあるお店で働く人の仕事の様子や工夫を追究するとともに、販売に携わる人たちの仕事と自分たちの生活とのつながりを考えられるように設定した例